

ハイエフコンビネーション（基本灯具：HTM4170A）専用

■器具の取り付け工事には電気工事士の資格が必要です。（施工は必ず電気工事店（有資格者）に依頼してください。）

施工説明

工事店様へ・・・この取扱説明書は保守のためお客様に必ずお渡しください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 取付工事は「取り付けかた」にしたがい確実に行ってください。
取付工事に不備がありますと、落下の原因となります。
- 金属製アクセサリーを非常灯にご使用の場合は、配光や非常点灯時の有効照射範囲が変わりますのでご相談ください。
- 樹脂ルーバ及び、樹脂製透光カバーは非常灯には使用できません。
- このアクセサリーは、ハイエフコンビネーション(基本灯具:HTM4170A)専用です。
- 器具や、アクセサリーを改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 天井埋込み器具専用アクセサリーですので壁取り付けや傾斜天井への取り付けはしないでください。火災・感電・落下の原因となります。

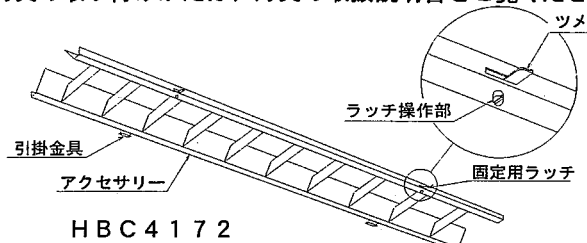
⚠ 注意

- 周囲温度は5~35℃以外では使用しないでください。火災の原因となります。
- 一般屋内用照明器具です。直射日光のあたる場所、湿気の多い場所、振動のある場所、雨の吹き込みを受ける場所、腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・感電・落下の原因となります。

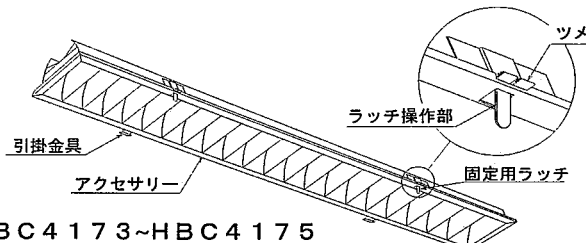
各部の名前と取り付けかた

図は取り扱いを説明するため一部省略抽象化した図です。

■基本灯具の取り付けかたは、灯具の取扱説明書をご覧ください。



HBC4172



HBC4173~HBC4175

■アクセサリーの取り付けかた（必ず電源を切ってから行ってください。）

- 1、アクセサリー取り付けの準備のため、基本灯具のソケット台・反射板を上側に移動させる。
 - (1) 基本灯具からランプ・反射板をはずす。
 - (2) ソケット台を手前に引いて上側に移動させ、確実に奥まで押し込む。（図1）
 - (3) 基本灯具に反射板・ランプを取り付ける。

2、HBC4172の場合（図2）

- (1) アクセサリーの引掛金具を基本灯具の角穴に引掛ける。
●基本灯具の角穴は左右同じですので取り付ける方向は自由です。
- (2) 固定用ラッチのツメを指でアクセサリー枠に押し込みながら、アクセサリーを基本灯具に挿入し、アクセサリー取付用角穴にラッチのツメを確実に引掛ける。
- (3) 固定用ラッチのツメが、基本灯具の角穴に確実に引掛かっているか確認する。
取り付けに不備がありますとアクセサリーの落下の原因となります。

3、HBC4173~HBC4175の場合（図3）

- (1) アクセサリーの引掛金具を基本灯具の角穴に引掛ける。
●基本灯具の角穴は左右同じですので取り付ける方向は自由です。
- (2) 固定用ラッチのツメが基本灯具の角穴に、確実に引掛かるまでアクセサリーを押し上げて取り付ける。
- (3) 固定用ラッチのツメが、基本灯具の角穴に確実に引掛かっているか確認する。
取り付けに不備がありますとアクセサリーの落下の原因となります。

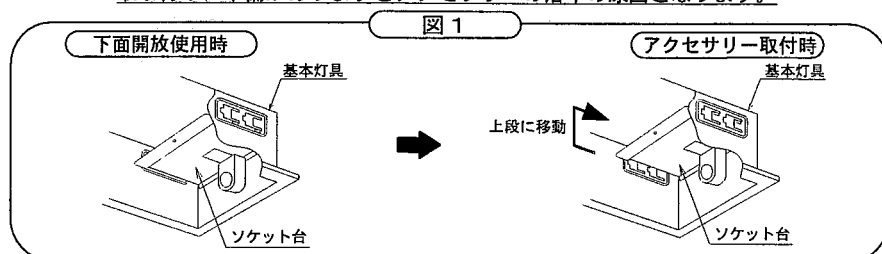


図1

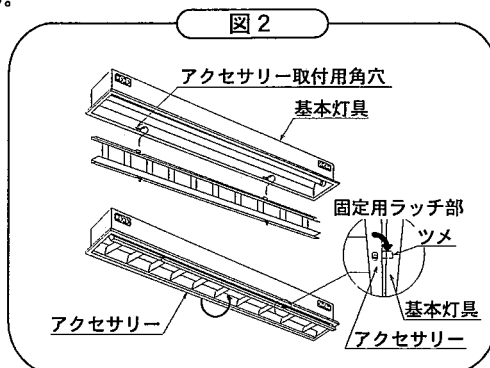


図2

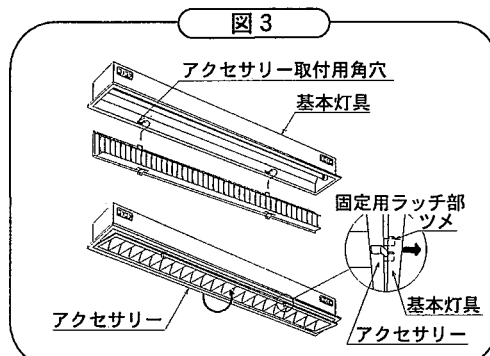


図3

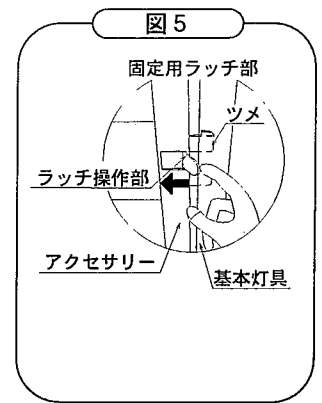
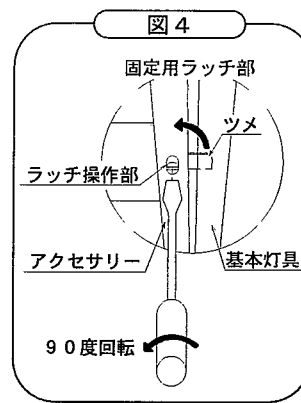
■アクセサリーの取りはずしかた（必ず電源を切ってから行ってください。）

1、HBC4172の場合（図4）

- （1）アクセサリーをかるく押し上げた状態で、ラッチ操作部を90度回転させたままゆっくり引きさげる。
- （2）アクセサリーを持ち上げるようにして、基本灯具の角穴から引掛金具をはずす。

2、HBC4173～HBC4175の場合（図5）

- （1）アクセサリーをかるく押し上げた状態で、ラッチ操作部を基本灯具中央部側へ押したままゆっくり引き下げる。
- （2）アクセサリーを持ち上げるようにして、基本灯具の角穴から引掛金具をはずす。



取扱説明

お客様へ・・・この取扱説明書は必ず保管してください。

■このたびは日立照明器具をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全に関するご注意

⚠ 警告

- 器具を改造しないでください。火災・感電・落下の原因となります。
- 器具のすきまや放熱穴に、金属類や燃えやすいものなどを差し込まないでください。火災・感電の原因となります。
- 煙がでたり異臭がするなどの異常が生じたら、ただちに電源を切ってください。火災・感電の原因となります。
- ランプ、アクセサリーの交換やお手入れは、取扱説明書により確実に行ってください。火災・感電・落下の原因となります。

⚠ 注意

- アクセサリー、ランプなどのお手入れ、交換は必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。
- 水および洗剤での丸洗いはしないでください。傷つき・変形・変色・サビの原因となります。
- 器具を温度の高くなるもの（ストーブ・ガスレンジ等）の近くや燃えやすいものの近くでは使用しないでください。火災の原因となります。
- ランプ交換の際には、基本灯具の本体表示及び取扱説明書にしたがって指定されたランプを使用してください。指定以外のランプを使用すると、火災の原因となります。
- ランプだけを器具から取りはずしての間引き点灯はしないでください。火災・短寿命・絶縁不良の原因となります。
- 明るく安全に使用していただくために、定期的に清掃、点検をしてください。不具合がありましたら、そのまま使用しないで工事店・電器店に修理を依頼してください。
- 3～5年に1回は電気工事店等の専門家による点検を実施していただき、不具合がありましたら交換してください。

お手入れ・ランプ交換（必ず電源を切ってから行ってください。感電・やけどの原因となります。）

- ランプの口金付近が黒ずみますとランプの寿命です。そのままご使用をつづけますと明るさが落ちるだけでなく、非常灯でご使用の場合は非常点灯時の明るさが確保できなくなります。
- また器具の寿命も低下させますので、新しいランプとお取り替えください。

❗ 必ずしてください

- ・ランプ、透光カバー、またはルーバがほこりなどで汚れますと、明るさが低下します。汚れが目立ちはじめましたら器具よりランプ、透光カバー、またはルーバをはずし、きれいな布にせっけん水を浸してよく絞ってからふきとり、さらに乾いた布でふいて仕上げてください。（鏡面、または鏡面ツヤ消しルーバを除く）
- ・鏡面または鏡面ツヤ消しルーバは極細繊維の布でからぶきしてください。
- ・化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書にしたがってください。

❌ 禁止

- ・みがき粉・ベンジンなどでふいたり殺虫剤をかけないでください。またアクセサリーの水及び洗剤での丸洗いは、絶対にお避けください。傷つき、変形、変色、サビの原因となります。

❌ 禁止

- ・点灯中や消灯直後は、ランプが高温となっていますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。

❗ 必ずしてください

- ・指定されたランプ以外は絶対に使用しないでください。火災・器具の破損の原因となります。

アフターサービス・・・ご使用中、器具に異常が生じた場合は直ちに使用を中止し、電気工事店または下記のところに、器具の形式・故障状況を連絡のうえ修理を依頼してください。

◎日立ライティング株式会社

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2
電話(03)3255-5256

2003.04 KTB2614 R2